

技能・技術実践研修カリキュラム

コース番号	コース名	期 間	定員	日数
B7	【通信活用研修】 職種個別依頼型 勝つための技能分析 と成績分析 (2職種限定)	【集合研修日】令和 年 月 日()	10	2 (集合1)
開催会場	職業能力開発総合大学校	技能・技術分野	共通	
		技能・技術レベル	—	
		技能・技術要素	—	
研修のねらい 及び 到達目標	本研修は、技能五輪国際大会におけるメダル獲得を目指し、特定の職種を対象に、選手の技能特性と競技課題を定量的に分析するとともに、過去の成績や採点傾向を多角的に読み解く手法を習得することを目的とする。受講者は、動作・作業・判断の各要素における技能構造を把握し、職種別の競技特性に応じた強化ポイントを明確にするとともに、得点分布や採点傾向から戦略的に対策を講じる力を獲得することで、より精度の高い訓練と評価を実践できるようになる。			
最低限 必要な知識	技能五輪全国大会あるいは技能五輪国際大会に関する基礎的知識を有すること。			
研 修 内 容	項 目 (予 定)	講 義	実 技 ・ 演 習	
	【通信活用研修】 本研修は通信活用研修となっており、事前課題と事後課題があります。 それぞれ指定の期日と方法でご提出いただきます。		6 H	
	1. 分析の基本フレームを理解する 技能分析・成績分析の考え方、構造、分析の4視点（技能・評価・時間・品質）	0.5 H		
	2. 職種別：技能特性の分解と可視化 各職種の作業特性・技能構成を分解し、動作・判断の分析指標を整理	0.5 H	1 H	
	3. 成績と採点傾向の分析手法 過去大会データを用いた得点分布・項目別得点率・評価傾向の読み解き方	0.5 H	1 H	
	4. データから導く強化ポイント 分析結果をもとに「どこを、どう伸ばすか」を明確化（個人／全体）	0.5 H		
	5. ケース演習：分析に基づく訓練方針立案 仮想選手データをもとに、分析→戦略→評価→フィードバック計画を立案			1 H
	6. 発表とフィードバック 各グループが立案した戦略を発表、職種間で視点を共有し、講評を受ける			0.5 H
7. まとめと行動計画の明文化 各自の現場に持ち帰る分析指標・評価手法・訓練改善策を文書化	0.5 H			
		2.5 H	9.5 H	
リニューアル の概要 及びアピール ポイント	本研修は、通信活用研修です。事前課題と事後課題を提出いただき、その評価結果と集合研修6時間の受講により修了要件を満たします。			
研修成果が 活用できる 職務	職務 1	職務 2	職務の内容	
	
	
担当教員 (ユニット)	菊池 拓男 (情報通信ユニット)			
使用する機器 等				
受講者が用意 するテキスト (予定)				